

平成26年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年8月6日

上場取引所 東

上場会社名 ホウライ株式会社

コード番号 9679 URL <http://www.horai-kk.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼社長執行役員 (氏名) 谷澤 文彦

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役兼常務執行役員 経理部長 (氏名) 泰地 伸宏

TEL 03-3546-2921

四半期報告書提出予定日 平成26年8月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年9月期第3四半期の業績(平成25年10月1日～平成26年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年9月期第3四半期	3,531	△1.8	72	△42.1	412	△20.9	288	△35.1
25年9月期第3四半期	3,597	1.9	125	60.7	521	34.4	445	△26.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年9月期第3四半期	20.67	—
25年9月期第3四半期	31.83	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
26年9月期第3四半期	18,649		6,050		32.4	
25年9月期	18,802		5,836		31.0	

(参考)自己資本 26年9月期第3四半期 6,050百万円 25年9月期 5,836百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭				
25年9月期	—	0.00	—	5.00	5.00
26年9月期	—	0.00	—	—	—
26年9月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年9月期の業績予想(平成25年10月1日～平成26年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,430	7.5	410	51.6	1,040	0.4	660	△15.7	47.21

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年9月期3Q	14,040,000 株	25年9月期	14,040,000 株
26年9月期3Q	60,962 株	25年9月期	58,476 株
26年9月期3Q	13,980,342 株	25年9月期3Q	13,984,600 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の背景等につきましては、添付資料P.2「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、政府・日銀による経済政策、金融政策の下支えを背景に、企業収益は改善傾向が継続し、設備投資の持ち直しや雇用情勢の改善等もみられ、景気は緩やかながら回復基調で推移しました。しかしながら、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動や、海外景気の下振れによる国内景気への影響等、先行き不透明感は依然払拭できない状況にあります。

このような環境下、当社は各事業が、特性に応じた施策の積極展開に努め、利益水準の回復を目指しました。営業収益は、乳業事業は前年同期を上回りましたが、その他の各事業は前年同期を下回り、全体では前年同期比減収となりました。営業原価は、保険、ゴルフの各事業が前年同期を下回ったことを主因に全体でも前年同期比減少し、一般管理費も前年同期比減少しましたが、減収をカバーするまでには至らず、営業利益は前年同期比減益となりました。

この結果、当第3四半期累計期間の経営成績は、営業収益が3,531百万円（前年同期比66百万円減）、営業原価は3,050百万円（前年同期比4百万円減）、一般管理費は408百万円（前年同期比9百万円減）となり、営業利益は72百万円（前年同期比52百万円減）となりました。

経常利益は、ゴルフ会員権の消却益281百万円（前年同期比125百万円減）等を主因に412百万円（前年同期比109百万円減）となりました。

税引後の四半期純利益は、前年同期に特別利益に計上した風評被害等に対する東京電力株式会社からの補償金が、当四半期累計期間にはなかったこと等から288百万円（前年同期比156百万円減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

①保険事業

損害保険分野は前年を上回りましたが、生命保険分野が前年を下回ったことから、営業収益は738百万円（前年同期比1百万円減）となりました。効率的な運営に努め営業原価は前年比減少し、営業利益は246百万円（前年同期比3百万円増）となりました。

②不動産事業

銀座ホウライビル、新宿ホウライビルは新規入居等により賃貸収入は前年比増加しましたが、さくら堀留ビルの一部テナント退出による賃貸収入の減少を補うには至らず、営業収益は1,200百万円（前年同期比11百万円減）となりました。営業原価は、ビルグレード向上のための改修工事等修繕費を主因に前年比増加し、営業利益は436百万円（前年同期比18百万円減）となりました。

③乳業事業

乳製品は、ヨーグルトは新商品の寄与等で前年を上回ったものの、牛乳、アイスが前年を下回ったことを主因に前年比減収となりましたが、生乳の増収でカバーし、営業収益は551百万円（前年同期比2百万円増）となりました。製造原価は前年比減少しましたが、新商品の広告宣伝費を主因とした経費増により営業原価は前年比増加し、営業損失は114百万円（前年同期比5百万円の悪化）となりました。

④観光事業

来場者数は、天候不順（特に休日）の影響等もあり前年を下回り、営業収益は、売店・食堂の売上減少を主因に613百万円（前年同期比34百万円減）となりました。営業原価は、施設のリニューアルに伴う修繕費や、新規イベント企画導入のための販促費の増加等を主因に前年を上回り、営業利益は23百万円（前年同期比36百万円減）となりました。

⑤ゴルフ事業

プレー単価は前年を上回りましたが、来場客は天候影響等もあり前年を下回り、営業収益は427百万円（前年同期比21百万円減）となりました。営業原価は、人件費・物件費ともに前年を下回りましたが、営業損失は111百万円（前年同期比5百万円の悪化）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末においては、現預金の増加を主因に流動資産は増加しましたが、保険積立金の減少を主因に固定資産は減少し、総資産は前事業年度末に比較して153百万円減少しました。

負債は、長期預り保証金の減少を主因に、前事業年度末に比較して366百万円減少しました。

純資産は、四半期純利益の計上を主因に、前事業年度末に比較して213百万円増加し、自己資本比率は32.4%と、前事業年度末に比較して1.4ポイント改善しました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成26年5月7日の「平成26年9月期 第2四半期決算短信（非連結）」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年9月30日)	当第3四半期会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,099,056	2,778,954
受取手形及び売掛金	295,599	283,993
商品及び製品	125,592	126,660
仕掛品	4,868	25,329
原材料及び貯蔵品	71,327	68,165
未収還付法人税等	326,292	10,063
その他	75,022	90,532
貸倒引当金	△708	△752
流動資産合計	2,997,051	3,382,945
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	3,495,124	3,428,214
土地	7,056,555	7,056,555
その他(純額)	2,207,385	2,299,351
有形固定資産合計	12,759,066	12,784,122
無形固定資産	58,999	61,266
投資その他の資産		
保険積立金	2,096,148	1,498,050
その他	914,619	945,894
貸倒引当金	△23,000	△23,000
投資その他の資産合計	2,987,768	2,420,944
固定資産合計	15,805,833	15,266,333
資産合計	18,802,885	18,649,278
負債の部		
流動負債		
買掛金	66,192	73,297
1年内償還予定の社債	98,000	98,000
引当金	33,373	19,618
その他	641,396	710,645
流動負債合計	838,962	901,562
固定負債		
社債	1,455,000	1,406,000
長期預り保証金	10,524,027	10,106,948
引当金	98,180	73,696
資産除去債務	39,117	39,662
その他	10,665	71,379
固定負債合計	12,126,990	11,697,686
負債合計	12,965,952	12,599,248

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年9月30日)	当第3四半期会計期間 (平成26年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,340,550	4,340,550
資本剰余金	527,052	527,052
利益剰余金	917,291	1,136,303
自己株式	△14,461	△15,028
株主資本合計	5,770,432	5,988,877
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	66,499	61,152
評価・換算差額等合計	66,499	61,152
純資産合計	5,836,932	6,050,030
負債純資産合計	18,802,885	18,649,278

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)
営業収益	3,597,711	3,531,165
営業原価	3,054,628	3,050,335
営業総利益	543,082	480,829
一般管理費	417,977	408,377
営業利益	125,105	72,451
営業外収益		
受取利息	544	441
受取配当金	15,658	36,128
会員権消却益	406,543	281,482
その他	13,520	51,722
営業外収益合計	436,267	369,774
営業外費用		
支払利息	9,528	9,028
支払保証料	15,901	14,922
その他	14,414	5,843
営業外費用合計	39,844	29,794
経常利益	521,527	412,431
特別利益		
受取補償金	119,748	—
特別利益合計	119,748	—
特別損失		
固定資産除売却損	2,644	12,988
特別損失合計	2,644	12,988
税引前四半期純利益	638,631	399,443
法人税、住民税及び事業税	68,549	109,732
法人税等調整額	124,989	790
法人税等合計	193,538	110,523
四半期純利益	445,092	288,919

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。